

令和6年2月1日

令和6年度 入学試験 第1回午前 社会

京華女子中学校

1 リョウコさんは社会科の授業で、冬休みのできごとについて発表しました。発表の様子をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

私は冬休みに家族と一緒に別府市(大分県)へ旅行に出かけました。自宅がある東京都からは、かなり時間がかかりましたが、充実した旅となりました。今日は旅行初日の様子をみなさんに発表したいと思います。それでは、黒板に貼った3枚のカードを見てください。

カードA

標高が高いところでは、あたり一面が煙だらけという場所もあり、はじめは火事かなと思ひびっくりしましたが、実は湯気なのだそうです。自宅の風呂でここまでの湯気は立っていないことを考えると、直接さわることができる温度ではないと思います、手でふれるのをやめました。後から聞いた話ですが、やはり適温になるように冷まして利用するそうです。ほのかに硫黄のおいもしました。



カードB

駅構内のトイレがとてもユニークな作りでした。駅員さんにたずねたところ、これは街の雰囲気をこわさず、駅から旅の気持ちを盛り上げられるように工夫されているとのことでした。そういえば古都・京都や鎌倉では、ファストフード店の看板を目立たないようにしていると学んだことがありますね。それと似た工夫でしょう。



カードC

駅の改札は、朝の通勤ラッシュの時間帯ということもあり、非常に混雑していました。みなさん足早に歩いていたのでぶつからないようにするのに必死でしたし、歩きスマホや歩きエスカレーターは危ないと実感しました。4月からは電車通学となるので、がんばりたいです。



問1 カードA～Cをリョウコさんの旅行日程の順番に並びかえた場合に正しいものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① A→B→C ② A→C→B ③ B→A→C
- ④ B→C→A ⑤ C→A→B ⑥ C→B→A

問2 文中の下線部について、次の①～③は、自動車、鉄道、航空機のいずれかを主に利用して新橋駅前から別府駅前までかかる所要時間を表したものです。リョウコさんの今回の旅行の所要時間としてもっとも適切だと考えられるものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① 1時間40分 ② 6時間15分 ③ 13時間10分

問3 次の【写真1】は新橋駅構内の改札機付近を撮影したもので、【写真2】はリョウコさんが「身近な街で見られる工夫されているもの」を授業での発表で示すために撮影したものです。この改札機に見られる工夫とはどのようなものですか、具体的に説明しなさい。ただし、説明にあたっては、【写真2】の床に示されている3つの表示の内容を明らかにしながら書くこと。

【写真1】



【写真2】



問4 問3に関連して、身体に障がいをもつ人々や高齢者が安全・快適に行動できるように、身体的・精神的・社会的な障がいをなくすことを何といいますか、答えなさい。

問5 リョウコさんの発表を受けてクラスメイトのシオネさんは、大分県についてさらに調べ、2枚のレポートを作りました。これに関する次の(1)・(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次のレポートの文中の下線部は、現在の何地方にありましたか。正しいものを下の番号より選び、答えなさい。

大分県は、かつて豊後国と呼ばれ、福岡県の一部は豊前国と呼ばれていました。また、福井県の一部は「越前」と呼ばれていたのに対し、新潟県の一部は「越後」と呼ばれていました。このように、当時の都に経路として近い地域の名称に「前」をつけ、離れている地域の名称に「中」「後」をつけるという例は、全国的によく見られていました。

- ① 関東地方 ② 中部地方 ③ 近畿地方 ④ 九州地方

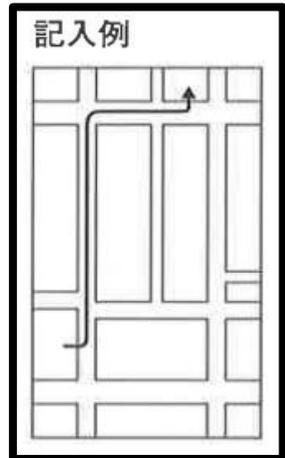
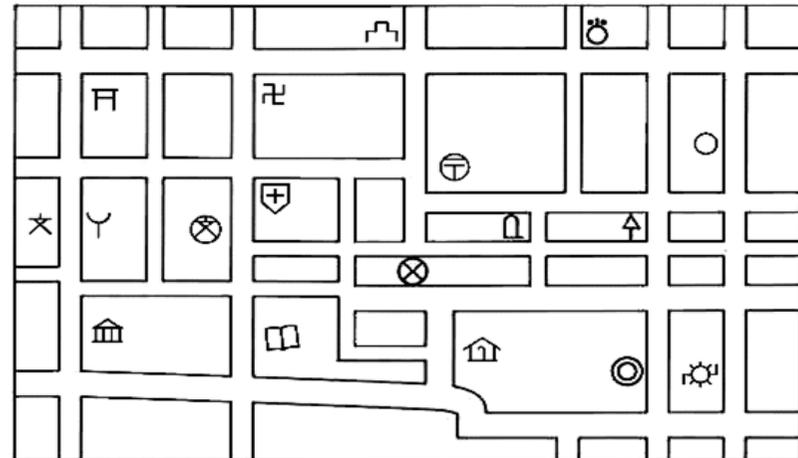
(2) 次のレポートの文中の[1]～[3]にあてはまるものをそれぞれ漢字2字で答えなさい。

大分県は1871年に成立しました。これは、[1]幕府がたおれ、その代わりに明治政府が誕生したことに関係しています。新しい政府の方針により、それまでの行政区分をあらためる[2]置県をおこないました。大分県という呼び名はこのときに生まれ、県の首長である県令(のちの県[3])には、森下景端がつきました。

問6 次の文は、リョウコさんが別府市内を散策したときのルートを示したものです。よく読んで、記入例にしたがい、解答欄の地図にルートを書き込みなさい。

道をたずねるために入った警察署を南門から出て、左へ曲がりました。しばらく進み最初の十字路を南へ進むと、右手に市役所があらわれました。この市役所は、歴史的な建造物として重要文化財に指定されていて、中には入らず外からながめるだけでも感動しました。そして次の交差点を右折して、道なりに進むと図書館がある大きな交差点にあたりました。この交差点を西へ進むと、博物館のある交差点に到着しました。大きな博物館だったので、交差点からもすぐに見えました。私たちは博物館の西門から入り、別府市のいろいろな伝統や歴史に関する展示を見て楽しみました。

地図



2 次の文章【1】～【3】は、それぞれ「鬼」に関して説明した文章です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

【1】「鬼をおそれた日本人」

中国の歴史書『魏志』倭人伝には、3世紀ごろの日本のようすが書かれています。そこには、邪馬台国の卑弥呼が「鬼道」を行い、人々をしがえていたとあります。「鬼」は、もともと中国で「死者の霊」を表す言葉でした。病気や事故によって亡くなった死者の霊は悪い鬼となり、人々に病気や災いをもたらすと考えられていました。このことから、卑弥呼が行った鬼道とは、死者の言葉を語ったり、a) 病気や災いを防いだりする 占いのようなものだと考えられます。

平安時代になると、鬼は夜に出現し、人々に災いや死をもたらすと考えられるようになりました。そのため、朝廷は陰陽寮という機関を設置し、そこに所属した陰陽師が、鬼の出現しやすい日を占ったり、鬼をたおす儀式を行ったりしました。当時大きな権力を持った藤原道長も、むすめが病気になったとき、病気が鬼のしわざかどうかを陰陽師に占わせたといっています。

また、平安時代には、病気や災いをもたらす鬼を追いはらうために、朝廷で「追儺」という行事が行われるようになりました。鬼のお面をかぶった人を、人々が弓矢をかまえながら追いかけて、国外へ追い出そうとする行事で、毎年のおおみそかに行われました。追儺を行う時には、次のような文が読まれたといっています。

「b) 東は陸奥、西は遠値嘉島、南は土佐、北は佐渡より外に鬼は住む」

この行事がしだいに形を変え、室町時代には鬼に対してc) 大豆を投げる ようになりました。これは、「大豆には鬼を殺す力がある」という中国の考え方を取り入れたからだと考えられます。

これが、現在のd) 節分の豆まき になったとされています。鬼が登場するe) 「桃太郎」 の昔話も室町時代にその原型が作られ、江戸時代になって完成しました。

明治時代になると、f) 言い伝えや妖怪 などとともに、鬼の存在は否定されるようになりました。

【2】「鬼にされた人々」

奈良時代に書かれた歴史書『日本書紀』には、佐渡島に「肅慎」とよばれる人々が船に乗ってやってきて、島の人々は「鬼」だと言っておそれ、近づかなかつたと書かれています。平安時代に書かれた『今昔物語集』には、佐渡島の人々が北方の島に流れ着き、そこにいた背の高い、見慣れない服装をした人を見て「鬼の住む島だ」と言ったと記録されています。また、平安時代の貴族の日記には、見慣れない姿・形をした5～6人の「鬼」が伊豆の島にやってきて、島の人をおそったり、畑を焼きはらったりしたとあります。このように、日本では古代から（A）を鬼と見なし、おそれていました。

1941年に太平洋戦争が始まると、日本では（B）兵やイギリス兵のことを「鬼」「鬼畜」と呼び、そのおそろしさやひどさを強調するようになりました。子ども向けの本や雑誌にも、（B）兵やイギリス兵が鬼として登場しています。このように日本の敵国であった（B）やイギリスを鬼として表現することで、g) 戦争が正当化されました。

【3】「鬼と女性」

鬼は人々からおそれられた一方で、自ら鬼となり、不思議で強力な力を得て仕返しをしようとする人々の話が語られるようになります。その多くが女性でした。例えば、室町時代に世阿弥が制作した「葵上」に登場する六条御息所という女性は、愛する光源氏が他の女性を愛したため、鬼の姿となってその女性をのろい、苦しめます。他にも、山に住んで人間をおそったり悪さをしたりする鬼の話が数多く残っていますが、その鬼の多くが女性で表されています。これには、女性が歴史的に置かれてきた立場が関係していると考えられます。過去をふりかえると、h) 女性は男性にくらべて社会的に弱い立場に立たされ、権力や機会を得られないことが多くありました。そのため、女性は物語の中では鬼となり、現実世界で自分を苦しめた人々に仕返しをしたり、苦しめたりすると考えられたのではないのでしょうか。

問1 文中の下線部 a) について、これと同じような目的で行われた歴史上の政策としてもっともふさわしいものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① 聖徳太子が十七条の憲法を制定した。
- ② 聖武天皇が東大寺の大仏をつくった。
- ③ 源頼朝が各地に守護・地頭を設置した。
- ④ 足利義満が京都の北山に金閣を建てた。

問2 文中の下線部 b) は、当時の朝廷が「日本」と認識していた地域を表していると考えられます。これに関する次の文章 I・II の正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の地図を参考にしながら次より選び、番号で答えなさい。



- I 現在の沖縄県は、当時はまだ日本の領域として認識されていなかった。
- II 地図中で示された4つの地域の中には、現在日本が韓国と領有権をめぐって対立している地域がある。

- ① I—正 II—正 ② I—正 II—誤
- ③ I—誤 II—正 ④ I—誤 II—誤

問3 文中の下線部 c) について、日本は国内で消費する大豆の 90%以上を外国から輸入しています。日本の食料自給率はおよそ 38%で、これは先進国の中でもかなり低い数字です。これについて説明した次の文章 I・II の正誤の組み合わせとして正しいものを次より選び、番号で答えなさい。

- I 食料の多くを外国からの輸入に頼っていることは、国内で食料が不足するのを防ぐことにつながるため、安定した状態だといえる。
- II 日本の食料自給率が低い理由の一つに、外国産の食料の値段が安いことがあげられる。

- ① I—正 II—正 ② I—正 II—誤
 ③ I—誤 II—正 ④ I—誤 II—誤

問4 文中の下線部 d) について、節分と似たものとして「節句」があり、これは特定の日に季節感を味わう行事、風習のことです。次の【資料】は、その節句と祝日に関して説明したものです。

【資料】

- 1月7日が人日の節句、3月3日が上巳の節句、5月5日が端午の節句、7月7日が七夕の節句、9月9日が重陽の節句とされ、古くからそれぞれ行事が行われてきた。
- 江戸時代のころから、上巳の節句はひな人形をかざって女子の健やかな成長を願う日、端午の節句は兜と鯉のぼりをかざって男子の健やかな成長を願う日として位置づけられるようになった。
- 1948年、政府は5月5日を国民の祝日である「こどもの日」と定めた。
- こどもの日は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ための日であると、法律で定められている。

現在、男性と女性について「こうあるべき」「こう行動すべき」という固定化された考えをなくそうとする動きが、世界各地で起こっています。このことを参考に、【資料】の中で私たちが気をつけるべきことは何だと考えられますか。あなたの考えを説明しなさい。

問5 文中の下線部 e) について、岡山県は「桃太郎」の発祥の地と考えられ、各地に桃太郎にまつわるスポットが残されています。岡山県について説明した文章として正しいものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① 日本海に面していて、冬は北西の季節風の影響で雪が多い。
 ② 倉敷市では工業がさかんで、石油化学コンビナートや製鉄所がつけられている。
 ③ 県庁所在地は松江市である。
 ④ 世界文化遺産に登録されている石見銀山がある。

問6 文中の下線部 f) のような考え方に变化したのはなぜだと考えられますか。これともっとも関連しているできごとを説明した文章としてふさわしいものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① 生類憐みの令を發布し、動物を保護した。
 ② 官営工場をつくるなど、殖産興業が進められた。
 ③ 西洋の生活習慣や学問、進んだ技術が取り入れられた。
 ④ 日清戦争に勝利し、下関条約が結ばれた。

問7 文中の (A) にあてはまる、人々の特徴を答えなさい。

問8 文中の (B) にあてはまる国名を答えなさい。

問9 文中の下線部 g) について、現在の日本と戦争について説明した次の文章 I・II の正誤の組み合わせとして正しいものを次より選び、番号で答えなさい。

- I 憲法の前文で平和主義を宣言し、第9条で戦争の放棄や戦力の不保持を定めている。
 II 憲法に違反しているという理由から、自衛隊はPKOに参加したことがない。

- ① I—正 II—正 ② I—正 II—誤
 ③ I—誤 II—正 ④ I—誤 II—誤

問 10 文中の下線部 h) について、現代では性別による差別を受けることのない平等な社会を実現できるよう、様々な工夫がなされています。その考え方を何といいますか。もっともふさわしいものを次より選び、番号で答えなさい。

- ① ジェンダーレス ② インバウンド ③ ハラスメント ④ バーチャル